

特集 都市計画マスタープランをつくっています

わがまちの

未来設計図

～水と緑と歴史がおりなす笑顔あふれるまちぎょうだへ～

都市計画に関する基本的な方針を示し、市の都市計画を進める上で「羅針盤」の役割を担う都市計画マスタープラン。20年後の本市が目指す姿を都市将来像として描き、実現に向けた方針や施策を示します。

地域の現状や課題を的確にとらえ、市民の皆さんと共有できる計画とするために、「市民アンケート調査」、「地域別懇談会」、「市民まちづくり会議」、「こども会議」を実施しました。

皆さんからいただいた意見・提案を基に、現在計画づくりを進めています。

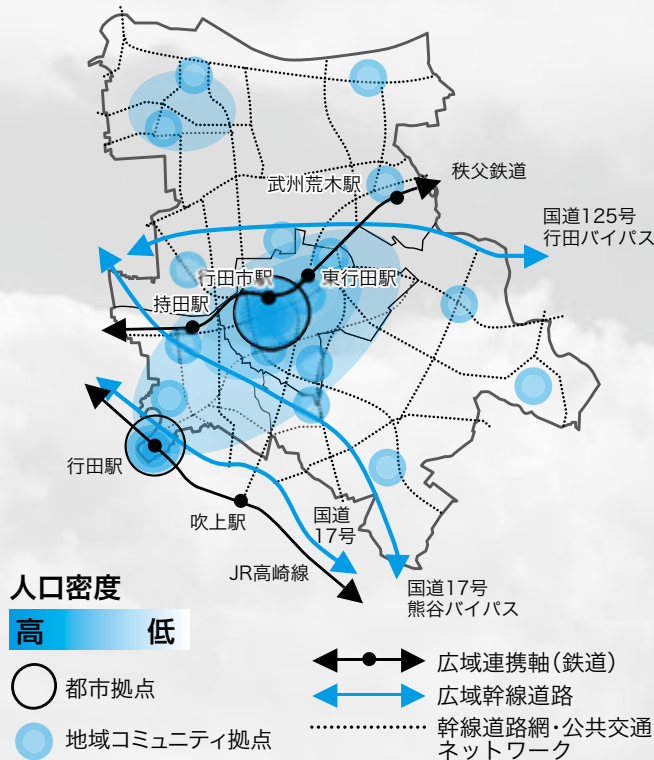
行田市の都市づくりの考え方

都市づくりの基本方針

これまで、人口の増加を前提として成長と拡大を基調とした都市づくりを行ってきましたが、人口減少・超高齢化社会に対応するため、都市の拠点となる地域（中心市街地・JRR行田駅周辺）では、必要とされる都市機能を集約し、誰もが歩

いて暮らせる、安全で暮らしやすいまちづくりを進めます。また、農村集落地域では、生活利便性を向上させ、道路・交通ネットワークなどのさらなる充実を図り、各地域が連携した都市づくりを目指します。

これからの都市構造のイメージ図



笑顔で暮らす、 住みよいまち

多様な都市機能を集約した都市拠点と、生活の場を公共交通で連携することで、都市部と農村集落地の生活圏が魅力的で、便利な暮らしやすいまちづくり

行田らしさが光るまち

利根川や埼玉古墳群など、本市特有の自然環境を次世代に継承するため、環境への負荷の軽減を図り、水と緑に囲まれた都市と自然が共生するまちづくり

都市づくりの 基本目標

笑顔あふれ、 にぎわいを生むまち

都市機能の集約と地域資源の活用、土地利用の見直しなどにより、農業・商業・工業・観光などの分野で、市民と来訪者の交流の拠点が形成された、にぎわいと活力のあるまちづくり

市民一人ひとりが 主役のまち

市民、民間事業者、行政が、構想段階から事業化段階まで継続して主体的にまちづくりに関わることができる、協働によるまちづくり

※現在、策定委員会で検討中のため、変更となる場合があります。